

明光企画の旬な情報をみなさまへお届けします

明光通信

04月号

NO.37

2011.04.10

MEICO NEWS LETTER

☎ 047-396-2211 ☎ 047-397-0325 🌐 <http://meiko-kikaku.co.jp>

●明光通信は明光企画のお得意様だけにお渡ししています ●バックナンバーを弊社ホームページで公開中!

Message

平成23年、今

代表取締役会長
内山明夫

この度の大震災で亡くなられた方、ご縁の方
方に心よりお悔やみを申し上げますとともに、被災者の皆様、ご縁者の皆様には心よりお見舞いを申し上げます。

今後、3月11日といえば今年平成23年のこの日、大震災の日を指すということになるのでしょうか。震災と事故に備えて、世界でもトップレベルの日本の科学技術を駆使した大防波堤などを粉々に砕いて、人智を超えた自然のエネルギーを見せ付けた東日本大震災、私たち日本人はこれを、どう理解し、何を学ばばよいのでしょうか。特にこの地域でできることとは、どんなことなのでしょう。

折しも、世界も国も今や数々の大難問を抱えて立ち往生の状態に見えます。地球上のあちこちに飢饉と戦争と自然災害と疫病と不公平が起こっており、理性が発揮できない行き詰まり状態になっています。この時に、千年に一度の大震災ですから、そのぐらいの深みからの出直しが必要なのかもしれません。

生活の場あるいは仕事の場であるこの地域から、もう少しははっきりと近未来に希望が持てるようにできる術はないのでしょうか。

まず、大切にすべき確かな足元に何を据えるか。物質文明が置き忘れてきた精神文化を急

いで進化させることでしょうか。地域のことでありますからあまり難しく考えないで、人の情(心)、たとえば、家族、隣人、友人、仲間など、気の合う人ご縁のある人たちと、しっかり向き合い、助け合う関係をつくることから始めるのはいかがでしょうか。

かつて濃密な人間関係を嫌って都会へ集まってきた人たちも、核家族で奮闘した半生の先には、さらに希薄な人間関係しかなく、グローバル化にとっては効率がよいとしても、現社会が未来を託すに足るシステムであるのかどうか、考える必要があります。

未来に向けて再スタートできるためには、安全、安心で、簡単で、費用と時間があまりかからないことが大切です。経済成長や、物の生産高ではなく、幸せ、楽しさ、命の輝き、といった基準が大切でしょう。

生活レベルで、特徴のあるこの地域の人たちが、「健康で持続性のあるライフスタイル」を目指して動き出せば、自立的な経済循環圏も形成可能になり、未来につながる希望が見えてくるのではないのでしょうか。

今年は特に、家族、隣人、仲間、ご縁のある方々としっかり向き合って、しっかりコミュニケーションをとり、心の充実、成長に挑戦したいと思います。



お店周辺に配布でも配布地域によって反響が違う!

ポスティングアドバイザー 谷井 孝之

今回は、行徳の大通りに面したお店で、大通りを境に分けてチラシを2回配布したところ、反響が異なった事例です。

- 業種 ▶ ブランド・金など中古品の売買業
- 配布エリア ▶ 店舗周辺 (1回目大通りを渡った地域・2回目はお店側の地域)
- 配布部数 ▶ 10,000 枚
- 配布物 ▶ チラシ持参で金・ブランド品などの買い取り額UP告知

お店側の地域へ配布した結果、10人以上がチラシ持参して来店

お店

大通り

大通りを渡った側の地域へ配布した結果、2人がチラシ持参して来店

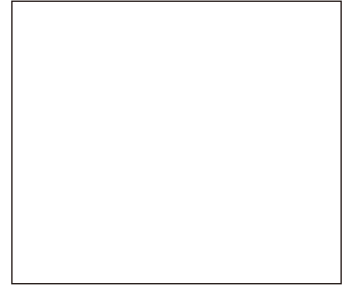
結果▶▶▶

大通りを渡るかどうかで反響が5倍以上違いました。

Advice

お店周辺に配布する場合も、大通りや線路など、人の流れを考えて配布地域を選ぶことが反響を良くするポイントだと思います。

オーナーの美容
師さんに焦点を
あてた記事広告



お得感と魅力を伝えて新規客数アップ!

掲載媒体

▶葛西新聞 2月4日

広告形態

▶デザイン広告

サイズ

▶3段1/2(カラー)

業種

▶リサイクル子供服

内容

▶全品半額のセール告知

いつもの2倍に!

広告の反響は停電の影響なし

掲載媒体 ▶いちかわ新聞

3月11日

広告形態 ▶記事広告

サイズ ▶2段1/2(モノクロ)

業種 ▶塾

内容 ▶春期講習会



制作のポイント

- ① 3月半ばという時期
- ② 前週に配布したチラシとの相乗効果
- ③ 地域の進学・学習状況に合わせた広告内容

停電による教室運営への影響はあるが、学校などはスタート時期が決まっているので時期を逃さずに動くことがポイントだった。

結果

配布直後の地震や計画停電にもかかわらず
20件近くの問い合わせがあり、定員がいっぱいに。